



IXL ライトは日本特有の[低粘度オイル]にもゲル化しない対策で特別に製造された新メタルコンディショナーです。どろっとした旧 IXL と違いハイブリッド車の 0w・5w などすべてのオイルへ添加できてサラっとした粘度です。そのため **IXL の成分がボトルの下へたまり易いので 使用前に十分に振って攪拌する事をお勧めします**

メタルコンディショナー IXL ライトは塩素系素材を一切含まない 炭化水素系 金属表面処理剤コンディショナーです。IXL はオイルシールやガスケットを痛めません エンジンオイルに対する添加率 基本的に初回

5~6%、次回以降 3% となりますが、レース仕様・重機類は 6% を続けて下さい 多少の入れ過ぎは問題ありません 少なくともそれなりの効果が現れます エンジンオイルに添加の場合、1 回の添加で 1 万~1 万 5 千 km は有効ですがエンジンオイルの寿命を延ばすものではありませんので **オイルの交換時期は指定期間を守り オイルチェンジの際に添加をお勧めします** 交換時期が迫っている時の添加は せっかく添加した IXL が十分な被膜を形成されるまでに捨ててしまう事になりますのでオイルチェンジの際がお勧めです 例) 交換オイルの全量が 4 リットル (4000cc) なら初回 5~6% で 200~240cc を添加します 次回以降は 3% なので $4000 \times 0.03 = 120\text{cc}$ の添加となります 添加の際は **もとのオイル量は減らすことなく添加して下さい** 添加量が数% なのでレベルオーバーの心配はありません エンジンオイル以外の添加 (トランスミッション・オートマ・パワステ等) では IXL は 6 万~10 万 km は効果が持続します 入れ過ぎによる

にじみ出しは危険な症状を引き起こす原因となるので **オイルレベルを確認しながら 入れ過ぎに注意!!**

ガソリン・軽油へ添加について メタルコンディショナー IXL ライトの内容成分の一部に含まれる不燃性成分で ガソリンや軽油へ添加すると 車のリアウィンドウが油膜でくもる恐れや 排ガス触媒への影響が心配されますがバイク、レーシングカートなどにはその心配 (油膜、触媒) が無い為 **個人の責任で燃料へ添加される例も多くあります** インジェクションや燃料系統へ IXL 効果あり 燃料 添加率 1 対 1280 (2ST オイルへはオイル缶へ 3~6% を事前に添加 チェーンベアリング は直接塗布 ピストン・シリンダーへはプラグ口から数滴)

バイクの湿式クラッチを含むエンジンオイル・ミッションオイルへも添加可能です。バイクのクラッチはオイルに浸かった状態の湿式クラッチが多く、クラッチにフリクションプレートと呼ばれるレジン・ファイバー素材の摩擦材を貼ったプレートにはイクセルは反応しませんので、湿式クラッチに使用していただいても滑ってしまうなどの問題はありません。渋いシフトを解消しエンジンが滑らかに吹き上がります

ブレ・キ・クラッチ系統はオイルではなくフルードの為 一切使用できません また IXL はオイルや水によって金属どおしが直触れあう面 (局圧点) に運ばれて皮膜を形成して金属摩擦を激減します。ゆえに金属の摩擦を利用して作動する次の方式 CV-T「無段変速用ミッション」、シリコンオイル系のオートマ、ポジトラック、LSD が入っているデフなど **滑りが生じる為 使用をお勧めできません** など。CVT か否かは取説で確認のこと。但しトルセン、ヘリカル、シュアトラック式 LSD は機械式伝達構造のため使用可能です

エンジンオイル	オイル全量の初回 6% 次回以降 3%	ターボチャージャー	ターボオイルの 3%
パワーステアリング	30cc 程度	ホイールベアリング	グリス量に対し 3%
デフ	オイル全量の 6% デフ入れ過ぎに注意	CV ジョイント	オイル全量の 6%
オートマオイル	軽~普通 100cc 程度	マニュアル・ミッションオイル	オイル全量の 3%
その他の車	オートマオイル全量の 2~3%	大型機械・トラック	粘度 80 までの潤滑油は 6%
ATF	バルブゲージ穴より添加可 プラス添加で		粘度 80 以上の潤滑油は 12%
小型エンジン、発電機	オイル全量の 3%	ポンプ・コンプレッサー	15cc 程度
各種油圧機器・切削油 (水溶性を含む)	3%	エアコン空調機	フロンガスとコンプレッサーオイル合計の 3%

オートマ・パワステへは特にトラブルがなければ添加する必要はありません また添加された IXL は被膜を形成しながら徐々に無くなるので **オイルレベルを確認しながら プラス添加して下さい** 転載禁止 2017/12 月

市販されている添加剤は **自動車メーカーの指定製品ではありません 個人の責任でご使用下さい** 目に入った時は ぬるま湯で十分に洗浄して下さい また幼児の手が届かない所で保管の事!!